

第五十二回帝國議會
衆議院

公益質屋法案委員會會議錄(速)第五回

付託議案
公益質屋法案(政府提出)

會議

昭和二年三月二日(水曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 横山勝太郎君

理事 井本 常作君

理事 川口 義久君

理事 大藤 唯男君

工藤 鐵男君

杉浦 武雄君

齋藤仁太郎君

安藤 正純君

山下 谷次君

筒井民次郎君

同日委員吉津度君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日山下谷次君ヲ議長ニ於テ選定モリ

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官 長岡隆一郎君

大藏政務次官 武内 作平君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

公益質屋法案(政府提出)

○横山委員長 是ヨリ開議致シマス――

委員外ノ秋田寅之介君ヨリ質問ノ申出

ガアリマス、許シテ宜シウゴザイマスカ

○工藤委員 賛成

○横山委員長 ソレデハ許シマス、秋

田寅之介君

○横山委員長 ソレデハ許シマス、秋

○秋田寅之介君 只今御協議ニナツテ居リマス公益質屋法ニ付キマシテ、委員會ノ速記録ハ第三回マデシカ出テ居リマセヌガ、其三回ノモノマデヲ見マシテ略分リマシタケレドモ、ソレ以外ニ自分ガ政府當局ニ伺フ見タイト思フコトガアリマスノデ、簡單ニ三項ニ互テ伺タイト思フデアリマス、本案ハ無論社會政策ノ見地ヨリ御提案ニナツタコトモ亦能ク分ル、又何人モ此案ガ社會政策上宜シイト云フコトハ同感デアルト考ヘテ居ル、唯此條項ニ付キマシテ私ノ疑問ノ在ル點ヲ伺タイノデスガ、第一條ニ「市町村又ハ公益法人ハ本法ニ依リ公益質屋ヲ經營スルコトヲ得」トアリマスガ、此公益法人ト云フ中ニハ宗教トカ或ハ教育トカ云フモノマデ這入ルヤウナコトハナイト思ヒマスルガ、此點ヲ一ツ伺タイ、若シソレガ這入ルトスレバ寺院ナドデ例ヘバ大キイ本願寺ナドノヤウナモノノ中ニデモ、ソレ等ガサウ云フヤウナコトガ出來ルト云フノデアルカ、ソレカラ現在アルダケノモノニ依テヤルノデアルカ、現在公益法人ガ在ル、是カラ先出來ルモノガアルト致シタナラバ、其割當方法ハ如何デアルカ、斯ウ云フコトヲ一ツ伺タイ、ソレカラ第三條ニ「公益質屋ノ設備ニ要スル經費ノ二

分ノ一以內ヲ補助ス」ト云フコトガアリマスガ、此經費ト云フコトハ事務所倉庫、什器等ニ至ルマデ認メラレルノデアルカ、或ハ單ニ倉庫ダケデアルカ、若シ假ニ事務所倉庫、什器ト云フモノヲ認メラレルトカ、或ハ唯倉庫ダケシカ認メラレナイト致シマシテモ、其倉庫トカ什器トカ云フモノハ、所ニ依テ其設備ノ範圍ガ自ラ異ルト思フテ居ルガ、其範圍ハドノ程度ニナツテ居ルカ、或ハ範圍ガナイノデアルカ、ソレカラ倉庫ハ鐵筋混凝土ノ倉庫ト云フコトガ速記ノ中ニアリマスガ、之ハ鐵筋混凝土ニ限ツテ居ルノデアルカ、又ハ他ノ土藏デアルトカ、――昔カラ在ル土藏ノヤウナモノデモ宜イノデアルカ、其邊モ聽イテ置ク必要ガアルト思フ、ソレカラ二分ノ一以內ト云フコトハ實際ヲ調査サレテ、其所ナドニ依テ評價人デモ置イテ調査サレルノデアラウト思ヒマスルガ、以內トアルコトハ餘リ廣汎デハアリハシナイカ、ソレガ爲ニ自然不公平ナコトガ起リハシナイカ、是等ハ評價人ナラ評價人ヲ置イテ、二分ノ一ト云フ風ニ確定セラレタ方ガ經營者ノ方ハ安心シテ出來ヤセヌカト思フ、二分ノ一以內ト云フコトハ非常ニ廣汎ニ互ルヤウデスガ、此邊ヲ一ツ伺タイ、ソレカラ第四條ノ「貸付金額ハ

一口ニ付二十圓、一世帯ニ付百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ命令ノ定メル所ニ依リ生産資金トシテ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス」ト斯ウ云フコトガアリマス、此一口ニ付キ二十圓トシテアリマスガ、私共ノ聞キ及ビマス所ニ依リマス、日本全國ノ統計ヲ取ツタモノハ六圓九十幾錢デアアル、斯ウ云フコトデ約七圓デアアル、現在ノ細民デナクシテ中流ノ人ガヤツテ居ル、日本全國ノ統計デモ六圓九十幾錢デ七圓ニ足ラナイノデアアルノニ、此細民ノ爲ニスルト云フノニ二十圓ニサレルト云フコトハ、奢侈ノ念ヲ起スモノデハナイカ、從來ノ統計ニ依テ七圓ニシカナラナイモノヲ、ソレヲ二十圓ニスルト云フコトハ奢侈ノ念ヲ起ス虞ガナイカ、更ニ一世帯ニ付テ百圓ヲ超ユルコトヲ得ズ、是等ハ私ハ別段其コトニ付テハ異存ハアリマセヌガ、此場合ニ一ツ伺テ置カンケレバナラヌコトハ、一人ノ人間ガ一日ニ一回ヨリ出來ヌノデアアルカ、數回デモ行ケルノデアアルカ、斯ウ云フコトモ伺ツテ置カンケレバナラヌ、或ハ又一ツノ品物デ假ニ時計ナラ時計ヲ一ツノ品物トシテ百圓貸シ得ルノデアアルカ、一度ニ政府ノ提案ノ法律ニ依テモ二十圓デアアルカラ、其一ツノ品物ニ付テ五口ノ貸出ガ出來ルカドウカト云フコト

ヲ承ツテ置キタイ、能ク聞ク所ニ依ルト、一ツノ品物ニ付テサウ云フコトヲスルコトモ出來ハシナイカト云フコトヲ言フテ居ルノデアリマスガ、之ヲ一ツ承ツテ置キタイ、ソレカラ運轉資金ハ處ニ依テ、大都市ト小都市、農村漁村ニ於テハ異ルト考ヘテ居ルガ、其金額ハ無制限ニ質屋ノ要求ニ依テ御貸付ニナルノデアルカドウデアアルカ、ソレカラ本年ノ豫算ニ十萬圓組ンデアリマスガ、是ハ十箇所ト云フコトニナツテ居リマスガ、其割宛方法ハ如何ナル方法ニ依テ御選定ニナルカ、六大都市ノ中ニナツテ居ルノデアアルカ、更ニ都市計畫施行地、或ハ農漁村ト云フ風ニ其緩急ニ依テ御決メニナルノデアアルカ、若シ其緩急ニ依テ御決メニナルトシテ僅ニ十箇所デアアルガ、一體總テ中央集權ノ弊ガアルノデ、是等モ或ハ六大都市ヲ先ニサレト云フヤウナ御考デモアルノデアアルカ、或ハ略御決リニナツテ居ル所ガアルカ、更ニ來年度カラ此年度ニドレ位ノモノヲ拵ヘラレル御考デアアルカト云フコトヲ承リタイ、ソレカラ社會政策社會政策ト御答辯ニナツテ居ル點ガアルガ、私共ハ細民ヲ救助スルダケガ社會事業デハナイ、現在ノ質屋ヲシテ居ル中デモ矢張中以上ニ這入ラレナイ人ガ幾ラモアル、又サウ云フ昔カラ自分ノ祖先カラヤッテ居ル商賣ヲ、ソレガ爲ニ全滅スルヤウナコトニナルカモ知レマセヌト思フテ居リマスカラ、中

以上ノ現在ノ質屋ヲ救助サレト云フコトモ社會政策ノ一ツデハナイカ、唯細民ヲ救助スルノ社會事業トバカリ考ヘナイ、ソコデ現在此案ニハ一口二十圓、一世帯百圓トアリマスガ、其金額ハ全國統計ニ依テ一口七圓トナツテ居ルガ、其二十圓ト云フコトヲ七圓位ニサレル意思ハナイカ、又百圓ノ半額ニシテ五十圓ニセラレル御考ハナイカ、是モ同時ニ合セテ承ツテ置キタイト思ヒマス、先ヅ御答ヲ承リマシタ上デ更ニ御伺スルコトガアレバ伺フコトニ致シマス、是ダケノコトヲ伺ヒマス

○長岡政府委員 只今秋田君ノ御質問ハ非常ニ多岐ニ互テ居リマスカラ或ハ私ハ御答申上ゲルコトガ漏レルカモ存ジマセヌ、若シ漏レテ居リマシタナラバ御注意ヲ願フテ、更ニ補足致スコトニ致シタイト考ヘマス、第一ノ御質問ハ第一條ニ所謂公益法人トハ如何ナルモノデアアルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデゴザマシタ、是ハ民法三十四條ニ依ル公益法人ニ法文ノ意味ハ限定サレテ居リマスケレドモ、是ハ社會事業デアリマスカラ、社會事業ヲ行フ公益法人デナケレバ本法ノ公益質屋ノ營業ハ許サヌ積リデアリマス、例ヘバ宗教ノ如キ、是ハ法人デアリマスカドウデアリマスカ、私ハ承知シテ居リマセスケレドモ、是ガ法入デアリマシテモ、宗教ノ宣布ト云フコトヲ目的トシテ居ル團體ニ對シテ社會事業ノ經營ヲ許スト云フコトハ、是

ハ法人ノ性質上出來ナイ、社會事業ヲ目的トシテ居ル法人ニ限ル意思デアリマス、ソレカラ第二ノ御質問ニ付テハ、二分ノ一以內ヲ補助ストアルガ、ソレハ倉庫、事務所ニ限ルカ、或ハ混凝土ノ倉庫ニ限ルカト云フ御質問デアリマシタガ、初度調辦費ヲ全部含ム積リデアリマスカラ、倉庫ニ致シマシテモ、或ハ事務所ニ致シマシテモ、亦營業ノ必要上金庫ヲ所要スルト云フ場合、是等總テ必要ナル調辦費ヲ含ム積リデアリマス、ソレカラ混凝土ニ限ルカト云フ御話デアリマシタガ、過日第二回ノ委員會會ノ時ニ申上ゲマシタ混凝土一坪何圓云々ト云フコトハ、是ハ豫算ノ基礎ヲ申上ゲタダケデアリマシテ、必シモ混凝土ニ限ルト云フ譯デハアリマセヌ、火災ノ少イ農村等ニ於キマシテハ敢テ鐵筋混凝土ニ限ルト云フ必要ハナイカモ知レマセヌ、ソレカラ二分ノ一以內トアルガ、是ハ誰ガ認定スルカ、鑑定人デモ置クカ、斯ウ云フ御尋デアリマシタガ、是ハ命令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトガ條文ニ書イテアリマス、之ニ依テ決メル積リデアリマス、例ヘバ市町村デ經營スル場合ハ或ル一定ノ金額其他寄附金ガアル、サウ云フ場合ニハソレヲ除キマシテ、後ノ二分ノ一ニスルト云フコトヲ勅令ニ定メル積デアリマス、要スルニ是ハ形ハ兎モ角モ、實際ニ於テ決算補助ト云フコトニナルト思ヒマシタガ、是ハ豫算ノ表ニ書イテアリマシヤ

ウナ繰越免許ト云フコトニスル次第デアリマス、ソレカラ第三ノ御質問ハ貸付金額ガ全國營利質屋ノ平均ガ七圓内外デアアルガ、二十圓ト云フコトハ高過ギハセヌカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ此委員會ニ於テ再々繰返シテ申上ゲタ積リデアリマス、平均ト云フコトト最高額ト云フコトハ別問題デアリマス、現在ノ營利質屋ノ貸出ス最高額ト云フモノハ千圓、千五百圓ニ達シテ居ルモノモアリマスガ、併シ全部ヲ平均スルト七圓内外ニナルノデアリマス、原案ニ二十圓トアリマスノハ最高額デアリマス、之ニ依テ平均額ハモットズツト下ルト思ヒマス、本日御手許ニ表ヲ配付致シマシタガ、只今公益質屋ニ付テハ貸付額ハ無制限デアリマス、五百圓ノ所モアリ、三百圓ノ所モアリ、五十圓ノ所モアリマスガ、ソレニシテモ平均額ハ非常ニ少クナツテ居リマス、最高額平均額ニ付テハ吳レミモ區別シテ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、二十圓ト云フモノヲ貸出スノハ奢侈ヲ獎勵シヤシナイカト云フコトデアリマス、二十圓ノ根據ニ付テハ過般來屢申上ゲ、幸ヒ秋田君ハ速記録ヲ御覽下サツタト云フコトデアリマスカラ繰返シテ申上ゲマセヌ、唯酒ヲ飲ムトカ、遊興費ニ使フトカ、奢侈ノ目的ニ使用スル者ニ對シテハ、公益質屋ニ於テハ貸出サナイ積リデゴザイマス、尙ホ一口ノ貸出金額ガ二十圓トアルガ、品物ガ高カッ

タ場合ニ之ヲ幾同ニモ分ケテ貸出スカ
ト云フ御質問デアリマスガ、營利質屋
ニ於テハ百圓ノ品物ヲ持ッテ來テ今日
二十圓貸シ、來月残りノ八十圓ヲ貸出
スヤウナ例ガアルト云フコトヲ承リマ
シタガ、サウ云フ例ハ餘リ澤山ナカラ
ウト思ヒマス、公益質屋ニ於テハ流質
期限ノ關係カラ一ツノ品物ニ付テ數回
ニ分ケテ貸出スコトハ致サナイ積リデ
ゴザイマス、同ジ品物ニ付テ數回ニ分
ケテ貸出スコト云フコトニナルト、流質
期限ノ計算ニ付テ非常ニ惑ヒマスカラ、
一品ニ付テハ一口ニ限リタイ考デゴザ
イマス、次ノ御質問ハ十萬圓ノ割當ハ
政府ニ於テ内定シテ居ルモノガアルカ
ト云フ御尋デアリマシタガ、是ハマダ
法律案モ議會ヲ通過セズ又豫算ハ衆議
院ヲ通過致シマシタケレドモ、只今貴
族院デ審査中デゴザイマスカラ、此法
律案ハ豫算ガ通過致シマセヌケレバ、
政府トシテハ之ニ對シテ審査ガ出來ナ
イ譯デアリマスガ、是ガ通過シ來年度
ガ參リマシテ、市町村ナリ公益法人ナ
リソレド、ノ議決機關ヲ經テ申請ガ出
テ來ル積リデアリマス、大體十箇所ハ
具體的ノモノデアリマス、唯六大都
市ニ集中シテ中央集權ヲ助長スルヤウ
ナ弊ハナイカト云フコトデアリマシタ
ガ、ソレハサウ云フ考ハ持ッテ居リマセ
ヌ、寧ロ農村ノ金融機關トシテモ此質屋
ハ相當必要ナモノデアアル、漁村トシテ
モ必要ト考ヘマスカラ、之ヲ設置スル

場合ニハ其地方ノ金融ノ狀況、金利ノ
狀況今迄アル公私設置質屋ノ狀況ナリカ
ラ考察シテヤリタイ考デアリマス、次ニ
社會施設ニ付テ、此法律ノ結果トシテ現
在ノ質屋ヲシテ大ナル損失ヲ來サシメ、
或ハ破産狀態ニ導ク虞ハナイカ、低利資
金等ヲ出シテハドウカト云フコトニ付テ
ハ、只今ノ所デハサウ云フ考ヲ持ッテ居リ
マセヌ、最高ノ貸出金額ヲ七圓ニスル
意思ナキヤト云フコトハ、第三ノ御質
問ニ對シテ御答シタ所デ御了解ヲ願ヘ
ルト考ヘマスガ、二十圓ハ最高金額デ、
平均金額デアリマセヌ、只今ノ公設
質屋ノ貸出金額ハ非常ニ少イモノデア
リマス、又私營質屋ニ付キマシテモ最
高ハ千圓以上ニモ達シテ居リマスガ、
平均額ハ七圓内外デ、之ヲ以テ最高限
度ニスルコトハ出來難イモノト思ヒマ
ス、之ヲ變更スルヤ否ヤト云フコトハ、
過日安達内務大臣代理ヨリ申上ゲタ言
明ヲ以テ御了解ヲ願フヨリ外ハナイト
思ヒマス、低利資金ノ貸出金額ニ付テ
最高ヲドノ位ノ額ニスルカト云フコト
ニ付テハ、只今内規的ニ定ツタモノハゴ
ザイマセヌ、併シ大體御手許ニ配付シタ
從來ノ公設質屋ニ對スル低利資金ナリ、
簡易保險積立金ノ貸出ナリ、或ハ其他
ノ額ニ依リマシテ大體所要額ハ御見當
ガ付クダラウト思ヒマス、其地方ノ狀
況ニ依テ一萬圓ノ所モゴザイマセウ、
二萬圓ノ所モゴザイマセウ、是ハ實際
ノ狀態ヲ見マシテ事宜ニ依テ大藏省ト

協議シテ決メルヨリ外ハナカラウト思
ヒマス
○秋田寅之介君 今一ツ御同致シマス
ガ、一口二十圓、一世帯ニ付テ百圓ヲ超
エルコトヲ得ズ、此場合百圓借リラレ
ル物ヲ持ッテ行ッタナラバ、一日ノ日ニ
五口ニ借リルコトガ出來ナイカドウカ、
ソレカラ從來ノ質屋ニ於テハ質物ヲ入
レタ人ハ、震火災不可抗力ノ爲ニソレ
ガ無クナツテモ辨償ヲ請求スルコトガ
出來ナイ、又貸出シタ者ハ其金ヲ取ラ
ナイデ、双方互讓的ニ解決シテ居ルヤ
ウニ思ヒマシタガ、是ハ今度ノ法律ニ
依テドウ御決メニナリマスカ
○長岡政府委員 一日數口貸スカト云
フ御尋ニ對シマシテハ、法律的ニ御答
致シマスガ、最高限度ニ達スルマデ貸
シテ差支ナイト思ヒマス、併ナガラ是
ハ先程モ申上ゲタ通り、公益質屋ニ於
キマシテハ奢侈ニ互ル用途ノ爲ニハ
貸サヌコトニナツテ居リマス、一日數回
デアリマシテモ、全ク其家ノ生活上必
要デアルト云フコトヲ見極メマシタ上
デ貸出スコト、ナラウト思ヒマス、ソ
レ故ニ極端ニ申セバ朝病人ガ出來テソ
レニ對シテ五圓、晩ニナツテ其病人ガ死
ンダノデ葬式ノ金ニ十圓、或ハ二十圓
ト云フヤウニ、一日二回ニ互ルコトモ
理窟トシテハアリ得ルカト思ヒマス、
第二ノ御尋ハ不可抗力ノ爲ニ質物ヲ損
シタ場合ニハ、今マデハ互讓的ニ解決
シタト云フ御言葉デアリマシタガ、大

體其ヤウデゴザイマス、併ナガラ今迄
ノ狀況ヲ見ルト單リ不可抗力ニ限ラズ、
火災水難ノ場合ノミナラズ、管理者ノ
不注意ヨリ蟲喰、鼠喰、汚損ヲ生ジタヤ
ウナ場合モ、質物ニ就テハ質置主ノ損
害、貸出金ニ就テハ質屋ノ損害ト云フ
コトニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ
互讓的デハアリマセヌ、現ニ質札ノ裏
面ニ蟲喰、鼠喰、汚損其他一切ノ損害ニ
付テ責ヲ負ハナイト云フコトヲ其通帳
ノ裏ニ書イテアリマス、又店舗ニ揭示
ガ出テ居リマス、是ガ自ラ契約ノ内容
ニナツテ居リマス、是ガ現狀デアリマス、
公益質屋ニ於テハ之ヲドウスルカト云
フ御尋デアリマスガ、不可抗力ノ場合
ハ矢張同ジヤウニスル外ハナイト思ヒ
マス、但シ質物ノ減損、毀損致シマシタ
場合ニ貸付金額ハ棒引ニナリマシテモ、
自分ノ家ノ寶、祖先傳來傳ツタト云フヤ
ウナ物ニ、本人トシテ金錢以外ノ苦痛
ヲ感ズルコトガアリマスカラ、倉庫ノ
設備ヲ完全ニシテ、震火災不可抗力ニ
對スル質置主ノ損害ヲ輕減致シタイト
云フ趣旨ヲ以テ倉庫ノ設備ヲサセル、
尙ホ市町村吏員公益法人ノ係員等ニ對
シマシテモ、不可抗力以外ノ場合、即チ
盜難、鼠喰、蟲喰ト云フヤウナ場合ニ付
テハ、善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ管
理サセル外ナイト思ヒマス
○横山委員長 私カラ簡單ニ伺ヒマス、
只今秋田君ノ質問ノ中ニ、一ツノ物ニ
付テ數口ノ貸出ガ出來ルカ、即チ例ヘ

百圓ノ時計ヲ持ッテ行ケバ之ヲ二十圓宛ニ分ケテ一世帯百圓ニスルト云フ、之ニ貸出ガ出來ルカト云フコトデアリマシタガ、ソレヲ一ツ、ソレカラ質物ノ競賣ノ點、是ハ競賣シタ場合ニハ「代金ノ計算ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスカラ、恐ラクソレデ解決ガ出來ルト思ヒマスガ、「バケツ」ダノ茶碗ダノト云フヤウナ、餘リ價値ノナイ物ヲ二十モ三十モ一緒ニ競賣スル場合ニ、其中ノ個々ノ品物ハ或ハ貸金ノ辨濟ニ充當シテモ、ナルモノモアリマセウガ、多クハ足りナイト云フヤウナ場合ニ、餘ツタ分ト足りヌ分トノ區別ハ、ドウ云フ風ニシテヤルノデスカ

○長岡政府委員 一品ニ付テ數口ノ貸出ヲスルカト云フ御質問ニ對シテ、今迄ノ營利質屋ニ於テハサウ云フ事ヲシテ居ッタモノガ有ルカモ知レマセヌガ、併シ澤山ハ無イト思ヒマス、併シ公益質屋ニ於キマシテハ、一品ニ對シテ既ニ一回ノ貸出ヲ致シタ以上ハ、物ノ不可分ト云フ關係ト、流質期限ノ計算カラ致シマシテ、百圓ノ物ヲ幾ツニ分ケルト云フヤウニシテ、即チ同一ノ物ニ對シテ第二回ノ貸出ハ出來スト思フノデアリマス、ソレカラ流質物ノ處分ニ付テ御質問ガアリマシタガ、「命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト書キマシタノハ、色々命令ノ規定ハゴザイマセウガ、只今御引例ニナリマシタヤウナ、澤山ノ物ヲ一時

ニ處分スル、是ハ此間説明致シマシタヤウニ實際度々有ルコトデ、評價額ノ少イモノヲ一々競賣ニ付シテモ糶リガ落チマセヌノデ、已ムヲ得ズ一括シテヤル場合ガアリマスガ、其場合ニ全體ニ於テ不足分ガアリマシテモ、民法ノ規定ノ如ク不足分ノ追徴ト云フ事ハ致サナイ積リデアリマス、其場合ニ於テハ遺憾ナガラ市町村ノ損失ニナルノデアリマス、唯幾分デモ殘餘ノアリマシタ場合ニハ、只今御引例「バケツ」ガ幾ラ、箒ガ幾ラ、靴ガ幾ラ、足袋ガ幾ラト云フヤウニ評價スルコトハ困難デアリマスカラ、先ヅ私ノ考デハ、當初ノ貸金高若クハ品物ノ評價額、質置主ニ貸シタ金額若クハ質物ノ初ノ評價額、ソレニ按分シテ割當テ、保管スル外ハナイト思ヒマス

○横山委員長 今一點伺ヒマス、例ヘバ百圓ノ金時計ヲ持ッテ行ッテ、夫婦ト子供三人ガ行ッテ、一時ニ一世帯ダカラ貸シテ呉レ、斯ウ云フ事ハ出來ナイノデスカ

○長岡政府委員 ソレハ矢張一口ニナルト思ヒマス

○工藤委員 今日迄ノ質問應答ハ主トシテ社會局方面ニ涉ッテ居リマシタガ、私ハ此際——公益質屋ハ庶民階級ノ金融機關トシテ間接ナル社會的施設デアルト信ジテ居リマスガ、大藏省ノ當局者ハ多分庶民階級ノ金融機關ヲ完備スル事ニ付テ、相當御研鑽ニモナッテ居ル

ダラウト考ヘマス、只今政務官ハ御見エニナラヌデモ、公益質屋ニ關シテ金融制度調査會ヲ決定致シマシタ其趣旨ヲ、御覽ノ通りナ狀態ヲ御説明ヲ願ヘマスレバ結構ダト思ヒマス、ソレカラ只今公益質屋入質一口平均金額調ト云フモノヲ頂戴致シマシタガ、之ニ金融調査會デ調査致シマシタ質屋ノ所在地ト、名前ヲ舉ゲテ居ルノヲ見ルト、少シ缺ケテ居ルヤウニ見エマス、詰リ之ニ舉ゲラレテ居ルモノハ金融調査會ニ出

シテ居ルモノト較べルト、數ガ足ラナイヤウデス、ソレカラハ之ニ依テ大體分リマスケレドモ、十圓以下ノモノ、十圓以上ノモノ、此數ハ參考書ニハ少シ足ラヌ所ガアリマスケレドモ、十圓以下ノモノト十圓以上ノモノトノ質屋ノ數ノ調デス、是ガ貴方ノ御手許デ分リマスナラバ御示ヲ願ヒタイ

○長岡政府委員 只今ノ御質問ノ中、第一ノ金融制度調査會ニ於テ掲ゲテ居ル公益質屋ノ數ト、本日御配付致シマシタ公益質屋ノ數ト突合ハヌ所ガアルト云フコト、是ハ御尤デアリマス、是ハ大正十四年ノ上半期ノ貸出金額ノ平均ヲ算出致シマシタ爲ニ、其後大正十四年ノ上半期以後ニ出來タ公益質屋ノ箇所ハ、之ニ掲ゲテナイ譯デアリマス、ソレハ調査ノ時期ガ違ヒマスカラ、其後施設サレタ公益質屋ハ今日御配付シタ中ニ缺ケテ居ル、斯様ニ御承知ヲ願ヒマス、第二ニ公益質屋ノ十圓以上ノ貸出

ト、十圓以下ノ貸出ト云フコトノ御質問ガアリマシタガ、ソレハ只今手許ニ調査書類ヲ持ッテ居リマセヌ、御必要ガアリマスレバ出來ルダケ調ベテ、次ノ委員會ニ差上ゲ得レバ差上ゲタイト思ヒマス

○工藤委員 公益質屋ノ制度ニ關スル調査參考資料ヲ見マスルト、十圓以下ハ八箇所、十圓以上ハ約二十二箇所ニナッテ居ルヤウデアリマス、長官ハ御知リニナラヌト思ヒマスガ、書類ソレ自身ガ表明シマシタ事ノヤウニ思ヒマス、ソレカラ前ニ申シタ事ヲ繰返サユウデアリマスガ、大藏省ノ政務次官ニ御伺シタイノハ、此委員會デ主トシテ現レタモノハ社會政策的ノ直接ノ所管トシテハ、長官ノ御辯明並ニ説明ヲ伺ヒマシタガ、併シ是ハ金融調査會ニ於テ調査シタ結果、即チ社會局ト金融調査會ト大藏省ノ關係、是ガ相俟テ此一ツノ成案ガ出來タト云フコトデアリマス、此公益質屋ニ關スル調査ノ綱領ヲ見マシテモ、實ニ理想ハ立派ナモノデアアル、官吏ノ階級ニシマシテモ、官吏ノ俸給ハ日本デ約二億五千萬圓俸給或ハ給料ヲ拂ッテ居ル中、殆ド一億七八千萬圓位カラ二億萬圓位迄ハ、年俸二千圓足ラズノ官吏ダト私ハ推定シテ居ル、サウスルト此方面ノ庶民階級ノ金融機關モ考ヘテ見ナケレバナラス、況ヤ東京市ノ公益質屋ニ關スル調査書ヲ見マス、ト、色々細民階級ノ日傭、自由勞働者ト云

フヤウナ自分ノ勞力デ以テ生活ノ資ヲ得テ居ル者モアリマスケレドモ、日傭トカ何トカ云フ極ク細カイ階級ヨリモ更ニモウ一段進ンダ階級ニ非常ニ需要ノアルヤウニ見エテ居ル、此東京市ガ十圓ダケニ制限ヲシテ居ルノデアリマスケレドモ、尙且ツ二十圓以上ノ要求者ト云フモノガ質入スルト云フノハ非常ニ多イ數ニ達スルモノデアル、シテ見ルト大藏當局者トシテハ時代ニ鑑ミテ、社會局ト相俟ツテ此階級ニ對シテ最モ缺乏シテ居ル機關ヲ作ルト云フコトハ、極メテ當然ナコトデアラウト思フ、今日迄直接金融ニ關スル所管事務ヲ持ッテ居ル方ミノ御意見ヲ伺ッテ、庶民階級ニ對スル金融機關ガ此公益質屋法ノ如キモノデ完備ヲ期スル積リデアルカドウカト云フコトヲ一ツ伺ヒマス

○武内政府委員 公益質屋法案ニ付キマシテ、特ニ金額ノ點ニ付テ色々御議論ガアツタヤウデアリマスガ、政府ノ考慮研究ヲ致シマシタ點ニ於キマシテ、只今工藤委員カラ御質問ノ中ニ御述ニナリマシタ通り、餘程世ノ中モ變ッテ參ッテ居ルノデアリマシテ、從來ノ質屋ガ相手ト致シテ居リマスル人々バカリデハナク、其以外ニ於キマシテモ矢張僅ナ少ナイ月給ヲ取ッテ居ル人、或ハ月給以外デ商賣ヲシテ居ル人デモ、金融ノ必要缺クベカラザルモノガアルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、斯ウ云フ方面ニ關スル金融機關ヲドウス

ルカト云フコトニ付キマシテハ、貴族院ニ於キマシテモ、此衆議院ニ於キマシテモ、每期御要求ガアルノデアリマス、其御要求ニ應ジマシテ提案ヲサレマシタモノ、一ツガ本案デアリマシテ、是ハ金融制度調査會ニモ諮詢ヲ致シマシタケレドモ、今日ノ物價ノ關係、社會ノ狀態等ニ照シマシテ、一口二十圓マデト云フコトハ最モ機宜ニ適シテ居ルモノ、斯ウ云フコトデ決定サレマシタ次第デアリマス、政府ノ調査ニ於キマシテモ左様ニナッテ居リマスシ、又金融ヲ營業トシテ居ル大家小家ノ意見ニ於キマシテモ、是ガ最モ機宜ニ適シテ居ルト考ヘル、今日ニ於キマシテモ矢張是ガ最モ適切ナルモノデアッテ、之ヲ非常ニ金額ヲ小サクシテ、サウシテ現在アル質屋ト同ジャウナ程度ニシヤウト云フヤウナコトハ、時代ノ進運ニ伴ハスモノト考ヘテ居ル次第デアリマス、是ハ金融機關デアルトカ、其他經濟上ノ政策ニ於キマシテハ必ず利害關係ヲ相伴フモノデアリマシテ、徹底セナイコト、或ハ衝突スルヤウナ場合ガアリマスガ、此法案ハ社會政策ノ遂行ノ上ニ於テ實ニ理想案ト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、諸君ノ慎重ナル御考慮ノ下ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ、大藏當局トシテハ切望致シテ居ル次第デアリマス

○横山委員長 ソレデハ質問ハ終ッテ宜シウゴザイマスナ——ソレデハ懇談

會ニ入りマス

午後二時三十一分懇談會ニ入ル

衆議院公益質屋法案委員會會議錄第二回中正課

頁	段	行	課	正
一	三	二九	三百圓	二百圓
二	二	二六	二十圓	二十圓
同	四	二八	五十	六十
五	三	一六	東京市	東京府
六	四	一二	ノ規定	料ノ規定

昭和二年三月三日印刷

昭和二年三月四日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社